

手足口病に気を付けましょう

～神奈川県内の発生状況～

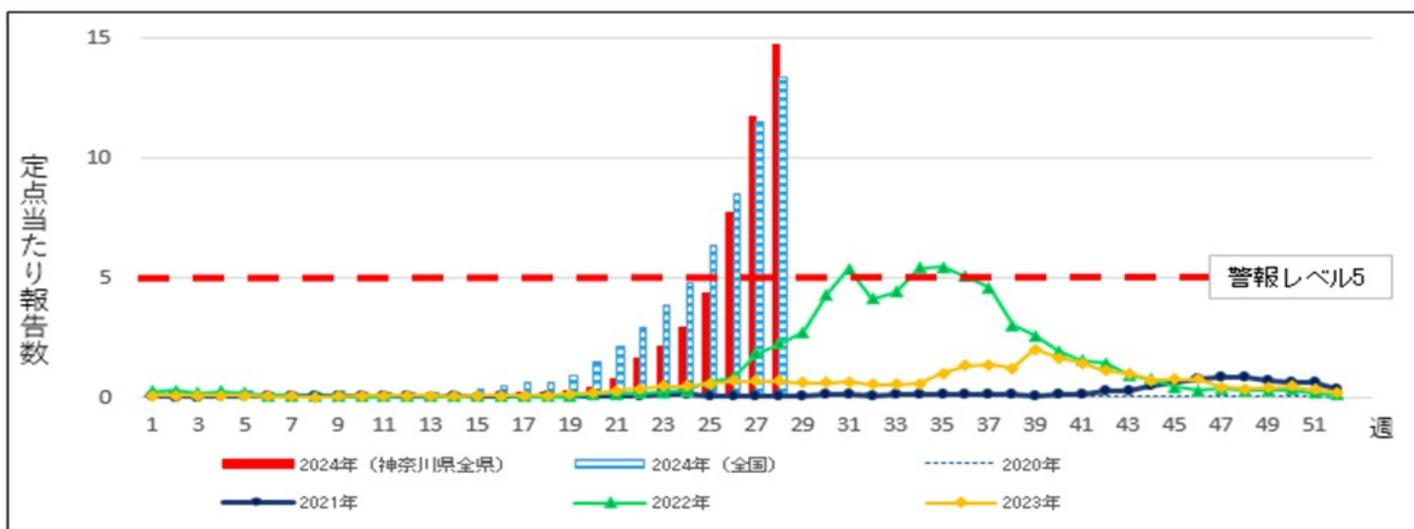
手足口病は夏に乳幼児を中心に流行し、手、足、口の中に水疱性の発疹をきたすウイルス感染症です。

神奈川県内における手足口病の報告数

2020年、2021年は新型コロナウイルス感染症の流行で、学校の休業やイベントの中止、感染対策の徹底などの影響で手足口病の流行はありませんでした。

2022年は夏季に警報レベル5を超える流行がありました。2023年は秋にやや患者報告数が増加しましたが大きな流行にはなりませんでした。

2024年は過去5年間で最も早く報告数の増加が始まり、28週（7月8日～7月14日）まで10週連続で報告数が増加しています。



定点：一定の人口割合で定められた医療機関

手足口病とは

- 【原因】 コクサッキーウイルスA群、エンテロウイルス71型等
- 【感染経路】 飛沫感染・接触感染・経口感染
- 【潜伏期間】 約3～5日間
- 【症状】 手・足・口の中の水疱性発疹（3～7日で消失）、発熱、のどの痛み
- 【治療】 特別な治療はありません。ワクチンはありません。

手足口病の対策は・・・

- 1 手洗い、消毒をする！**
手洗いをこまめに行い、食器やテーブル、おもちゃなどを消毒しましょう。
タオルを共有しないようにしましょう。
- 2 水分補給をこまめにする！**
口内炎の痛み等で飲食がしにくくない、脱水症状を起こすことがあります。
- 3 回復後も要注意！**
手足口病が治った後もしばらくの間は、便の中に原因ウイルスが排せつされます。
排便後、おむつの取り換え後は特に手洗いを徹底しましょう。



神奈川県衛生研究所 企画情報部 衛生情報課
電話：0467-83-4400 FAX:0467-83-4457
<https://www.pref.kanagawa.jp/sys/eiken>

(令和6年7月作成)